

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【公開番号】特開 2000-19191 (P2000-19191A)  
 【公開日】平成 12 年 1 月 21 日 (2000.1.21)  
 【出願番号】特願 平 10-188937  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 P 3/488

F 1 6 C 19/00

F 1 6 C 19/52

F 1 6 C 41/00

【 F I 】

G 0 1 P 3/488 L

F 1 6 C 19/00

F 1 6 C 19/52

F 1 6 C 41/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 11 日 (2005.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 5 】

次に、図 6 は、本発明の実施の形態の第 3 例を示している。本例の場合、上述した第 2 例の場合と異なり、ハブ 4 b の内端部に雄ねじ部 3 8 (図 4、5) を形成せず、内端部 (図 6 の右端部) に円筒部 5 7 を形成している。そして、このハブ 4 b の内端部外周面に内輪 5 を外嵌し、上記円筒部 5 7 の先端を直径方向外方に向けかしめ広げる事により、このかしめ部分と上記ハブ 4 b の中間部外周面に形成した段部 4 0 (図 4、5 参照) との間で、上記内輪 5 を挟持固定している。従って、本例の場合、上述した第 2 例の場合に使用していたナット 3 9 (図 4、5) が不要となるだけでなく、このナット 3 9 を省略した分センサ付転がり軸受ユニットの軸方向寸法の短縮化を図れる。